

# 自立活動だより

令和3年7月20日（火）

福島県立聴覚支援学校会津校自立活動係  
第1号

明日から夏休みが始まります。汗をかく夏は、補聴器には要注意の季節です。ご家庭でも、毎日、補聴器や人工内耳の点検とお手入れをしていることと思います。夏休みに今一度、お子さんと一緒に確認する機会をつくっていただき、快適な聞こえで楽しい毎日を過ごしてほしいと思います。

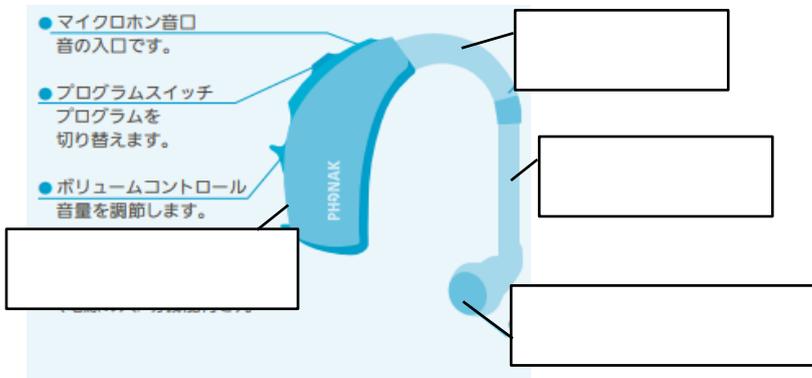


## 【補聴器や人工内耳の部位の名前を覚えているかな？】

お子さんと部位の名前を確かめながら、点検をお願いします。

○補聴器

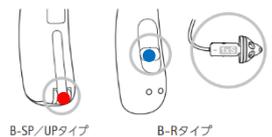
○人工内耳



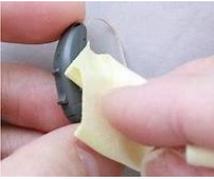
## 【補聴器や人工内耳の点検のポイント】

点検やお手入れがもれなくできているか、チェックしてみましょう。

- 毎日、電池の残量をチェックしている。
- 補聴器本体とイヤモールドの左右はあっている。（右：赤 左：青）
- 毎日、イヤモールドに耳垢などの汚れがないか確認している。
- フックやチューブに破損はないか、水滴はついていないか確認している。（補聴器）
- コイルとケーブルは、断線など不具合なく動作しているか確認している。（人工内耳）
- 電池は、ケースに書かれている+、-を確認して入れている。
- 寝る時は、補聴器を乾燥ケースに入れている。
- 乾燥ケースに入れるときは、電池を取り出している。
- 乾燥ケースに入れるときは、電池室を開けている。
- 乾燥剤の交換時期を守っている。青い粒やシールがピンクになったら交換する。
- 汗をかいたときは、補聴器や人工内耳、耳のまわりをタオルなどで拭いている。



## 【補聴器・人工内耳のお手入れについて】

<p>1</p>	<p>○補聴器本体は、ティッシュペーパーや専用のクリーニングシートやメガネ拭きのような柔らかい布で皮脂汚れなどを拭き取りましょう。</p> <p>○電池室は、綿棒で拭き取ります。 *さびてしまうと故障の原因になります。</p> <p>○人工内耳のスピーチプロセッサやマイクやコードは、水分に弱いので、軽くふくだけにします。</p>	   <p>電池室の中は綿棒で汗や湿気をふきとります。</p> <p>電池室を納めるくぼみにある金色の電極も、綿棒で汗や汚れをふきとります。(上下2カ所あります)</p>
<p>2</p>	<p>○耳栓やイヤモールドは、同じように汚れを拭き取ったら、ブラシで音の出口付近にある耳あかを除去しましょう。この時、ブラシを上向きに、耳栓の音の出口を下向きにしてブラッシングすることで、耳あかがチューブの中に入り込まなくなります。</p> <p>○チューブやイヤモールドは、水洗いもできます。フックは、ダンパー（網状の音響抵抗）がある場合は洗わないようにしましょう。</p> <p>○水洗いをしたら、水分をきれいに拭き取ります。チューブやイヤモールドの中は、こよりで拭き取ったり、エアブローで飛ばしたりして、水分を取ります。</p>	   <p>チューブを反時計方向にまわして、補聴器から取り外します。</p> <p>掃除棒をチューブに差し込み、中の汚れを取ります。</p>    <p>イヤモールドは、補聴器から外して水洗いし水気をふき取ります。内部に残った水滴は、エアブローで吹き飛ばします。</p> <p>エアブロー（別売）</p>
<p>3</p>	<p>○乾燥ケースに入れて、十分に乾燥させます。 *ドライヤーの温風などは使用しないでください。故障の原因になります。</p>	 <p>乾燥ケース</p> <p>ドライアイド</p> <p>電池は+面を下に向けて置いてください。</p>

夏休みは、家族で過ごす時間が長くなります。この時期ならではの話題がたくさんありますので、会話を楽しみながら言葉を育てるチャンスです。行事の由来やニュースの言葉を親子で調べたり、体験に合わせて確認したりすると良いでしょう。お子さんに合わせて行っていただければ幸いです。

例) 自然等：夕立、熱帯夜、かんかん照り、ゲリラ豪雨、せみ、蚊、カブトムシなど  
行事等：山の日、お盆、お墓参り、盆踊り、花火大会など  
ニュースの言葉：オリンピック、パラリンピック、終戦記念日、原爆の日など

